

令和5年度「あしたのまち・くらじづくり活動賞」 振興奨励賞受賞団体の活動について

本年度の「あしたのまち・くらじづくり活動賞」の振興奨励賞は20団体が受賞しました。各団体の活動概要を紹介します。

富野地域づくり協議会（宮城県） は、歴史文化を活かした地域づくりを進め、①伝承活動（歴史資源を巡るウォーキングイベント、神楽の伝承等）②育成活動（古代米づくり、ふるさと学習等）③ふれあい活動、④防災防犯活動、⑤健康福祉活動などの活動を展開している。

サシバの里協議会（栃木県） は、絶滅危惧種の鳥「サシバ」の生息密度が日本一と言われる市貝町において、①里山保全（谷津田の復元、キンブナ飼育）②都市農村交流（自然散策、農業体験）③観光まちづくり（民家の庭や縁側を観光客に開放するイベントの開催）④人材育成などに取り組んでいる。

オッティモサンタプロジェクト（埼玉県） は、全国各所のフリースクールや児童養護施設を訪問し、サンタとして子どもたちにおもちゃと「才能のタネ」をプレゼントする活動を行うほか、子どもたちからの悩み相談への対応、バーンショーなどを行う。

NPO法人あおいはる（埼玉県） は、放課後等デイサービスや成人の障がい者が働く生活介護事業所を運営。障がいのある人が地域課題を解決し活躍できる場を作り出した。耕作放棄地を利用した無農薬の野菜づくりや、収穫した野菜を使い高齢者のニーズに応えた量り売りのお惣菜屋の営業も行っている。

特定非営利活動法人AIKURU（埼玉県） は、子育て支援拠点施設を20年運営する。2020年からは畑づくりプロジェクト「IMJOJO」を開始。不耕作地を活用し「環境保全型農業」に取り組む。また、子育て中の女性が短時間就労できる場の提供や、入間市内の農業を伝える農業通信を年4回発行。

ねりま笑店街実行委員会・ねりまキッズボランティア（東京都） は、子どもたちの「やりたい」気持ちを大人が全力でサポート。老人ホームへの絵葉書送付やごみ拾いなどのボランティア、親子向け防災イベントの開催、「こども新聞」発行などの活動を展開。地域団体や商店街、学生、行政など様々な主体と連携した地域活性化を進める。

都立大学商店街連合会・とりつじん実行委員会（東京都） は、若手商店主が集まり実行



特定非営利活動法人 AIKURU



オッティモサンタプロジェクト



富野地域づくり協議会



ねりま笑店街実行委員会・
ねりまキッズボランティア



NPO 法人あおいはる



サシバの里協議会

委員会を結成。商店街で働く人の魅力をイラストレーター作品介绍するガイドブックの作成、店主たちの経験や技術を活かしたミニ講座の開催、街のお店を巡るイベントなどを行う。バーチャル展示やミニ講座のオンライン化にも取り組む。

玉川上水の自然保護を考える会(東京都)は、緑道清掃、野鳥や野草の保護、子どもたちが参加する自然観察会などの取り組みや、絶滅したホタルを復活させ300頭近く自生するホタルの保護活動を進めるほか、ホタルを教材にした環境学習の支援を小学校で実施。

横須賀建築探偵団(神奈川県)は、市内に残る戦前の建物を訪ね、写真と共に記録に残している。市指定重要文化財「市立方代会館」の維持保存活動や、「横須賀上町教会・付属めぐみ幼稚園」の有形文化財登録に貢献。その他、まちの記憶を伝えるため、書籍の発行、写真展、歴史的建造物の見学会、まち歩きなどを行っている。

佐鳴湖・段子川ゴミバスターズ(静岡県)は、佐鳴湖のゴミゼロを目指して活動を開始。ゴミを捨てない人づくりのため、周辺小中学校への出前講座、市の職員や地域住民に向けたパネル展示や講座等を実施。また、毎年ごみゼロフェスタを開催し、小中高生約100名が運営ボランティアとして参加。今年は1600人もの来場があった。

特定非営利活動法人芹川の河童(滋賀県)は、引きこもりや生きづらさを感じる若者の支援を行う「誰にも会いたくないカフェ」を運営。また、地元企業やフードバンクからフードロス食材の提供を受け、13組が日替わりで店長を務める「みんなの食堂」を商店街と共同運営する。

大原自治連合会 大原自主防災会(京都府)は、12町会が一体となり、専門家と協働して災害時に自立できる里づくりを進める。平成25年に「京都大原里づくりプラン」(改訂版)を策定し、プランの目玉となる「大原学区地区防震災計画」の策定を実現。また、災害時要配慮者支援台帳、緊急連絡網、防災マップなどを数年ごとに更新し、地域住民と情報を共有しながら取り組みを進化させている。

畑ヘルパー倶楽部(奈良県)は、援助を必要とする奈良県下の農家へ、ボランティアの「畑ヘルパー」が週4日派遣され農作業を手伝う。畑ヘルパーは謝礼として減農薬や自然農法で作られた農産物を受け取る。事務局は畑ヘルパーの斡旋料として農産物を受け取り、販売することで運営経費を賄う仕組み。料理教室など地域行事の手伝いも行う。

特定非営利活動法人スマイル・ちわ(岡山県)は、地域を大家族と位置づけたむらづくりを進める。コミュニティカフェの開催、高齢者の生活支援、休耕田を有効活用した田植え等の



特定非営利活動法人芹川の河童



横須賀建築探偵団



都立大学商店街連合会・とりつじん実行委員会



大原自治連合会 大原自主防災会



佐鳴湖・段子川ゴミバスターズ



玉川上水の自然保護を考える会

実施、高校・大学生と協働した取り組み、鳥獣害対策、空き家対策、防災活動などを展開する。

認定NPO法人とりで（山口県）は、児童養護施設等を退所した子どもたちを支援するアフターケア事業を行う。子どもたちがいつでも立ち寄れるように拠点を開設したほか、定期的な近況確認やイベントの開催、役所での事務手続きや大きな買い物などへの同行支援、就労支援（就職後も定期的に様子を確認）などを実施。スタッフに相談できる関係性の構築に努める。

川上さまが大好きな仲間たち（高知県）は、町の中心にある大川上美良布神社（通称川上さま）の境内や歴史的建造物を活用し、みんなが集まり屋台や舞台を楽しめる「おつまみ神社」、京都・茂山千五郎家による狂言公演など老若男女が交流できる催しを開催し、神社を拠点に地域をつなぐ。

あらお凧の会（熊本県）は、20年に及ぶ活動の中で、ダンボールコンポストによる生ごみの削減と堆肥づくり、グリーンカーテンの設置、ペットボトルキャップ回収と資金の寄附、エコクッキング講座などに取り組み、荒尾市のごみの量を減少させるなどの成果を上げる。

ボランティアみちの会（大分県）は、①高齢者支援（福祉施設でのデイサービス等）②障がい者支援（施設の手伝い等）③病院支援（総合案内ボランティア等）④環境保全（里山保全

活動等）⑤公的イベント支援（車椅子マラソン大会のボランティア等）の5本柱で活動を進め、幅広い生活課題に対応する。

NPO法人子育て応援レストラン（大分県）は、地域・企業・団体と連携し、食を通じた子育て支援を行う。子ども食堂、食材・日用品・学習用品の配布、専門家による子育て相談、フードドライブ、地域共生型農園、子育て支援を利用するママたちのボランティア活動、食

育などに取り組む。

喜入子育てコミュニティKADAN（鹿児島県）は、DIYで再生した空き家をコミュニティハウスとして運営。「子ども百貨店」を常設し、不要になった衣類やおもちゃなどを集め必要の人に無償で提供する。ミシンを配置した「手作りコーナー」、夜は学習ボランティアによる学習支援、飲食物を持ち寄る「もちよりカフェ」など老若男女の憩いの場となっている。



あらお凧の会



畑ヘルパー倶楽部®



ボランティアみちの会



特定非営利活動法人スマイル・ちわ



NPO法人子育て応援レストラン



認定NPO法人とりで



喜入子育てコミュニティKADAN



川上さまが大好きな仲間たち